

2026年6月23日

マップルと地域観光・産業活性化に向けた共同取組を推進

～「MOBILA」を軸に、“タビマエ”から“タビアト”までを支援する観光 DX を展開～

mapple × MOBILA

株式会社オートバックスセブン（代表取締役社長：堀井勇吾）は、地図・ガイド情報などを活用したサービスを提供する株式会社マップル（代表取締役社長：大日方祐樹、以下、マップル）と、地域における移動需要の創出および観光・産業活性化を目的とした共同取組の推進に関する覚書を締結いたしました。

ここがポイント！

- “タビマエ”から“タビアト”までを支援する観光 DX ソリューションを提供
- 「MOBILA」×マップルの連携により、地方来訪と広域周遊を促進
- アプリを通じた周遊促進とデータ活用により、地域活性化と観光マーケティングを実現

本取組では、全国の自治体・DMO（観光地域づくり法人）に向けて、当社が運営するモビリティライフ情報サービス「[MOBILA](#)」と、マップルの観光データおよび地域創生ノウハウを組み合わせ、旅行前（タビマエ）から旅行後（タビアト）までを一気通貫で支援する観光 DX ソリューションを提供します。

これにより、地域における来訪促進や消費拡大を支援するとともに、一般ユーザーに対しては、ドライブを通じて新たな行き先や体験と出会える“出かける楽しさ”を提供してまいります。

■ MOBILA とは

カーライフを愉しむための情報と、マイカー管理や MAP サービスなど便利な機能が満載のモビリティライフ情報サービス。付近の駐車場やガソリンスタンドの価格チェックも可能。

<https://mobila-carlife.jp/>

【協業の概要】 “タビマエ”から“タビアト”までのトータル支援

全国の自治体や DMO、観光関連事業者に向けて、旅行サイクルのあらゆるシーンで効果的なプロモーションを実現するパッケージソリューションを共同展開します。

- ① 「MOBILA」×マップルの観光データにより、旅行前から移動のきっかけを提供（タビマエ）

（次ページに続きます）

MOBILA のユーザー基盤を活用し、マップルが保有する豊富な観光データや編集ノウハウや双方のメディアを掛け合わせることで、魅力的なドライブプランや観光情報を発信。旅行前の段階から「行ってみたい」という動機を喚起し、地域への移動のきっかけを生み出します。

② **アプリを通じた周遊促進により、来訪・消費を生み出し地域経済に波及（タビナカ）**

MOBILA のデジタルラリーシステムを活用し、ユーザーの回遊行動を促進するとともに、マップルの観光情報を利用して地域の魅力を分かりやすく発信。観光施設や道の駅、飲食店などへの来訪を促し、現地での消費行動につなげることで、地域経済への波及効果を生み出します。

③ **移動・体験データを活用し、次の施策につながる観光マーケティングを実現（タビアト）**

MOBILA に蓄積されるユーザーの移動・体験データと、マップルの知見を掛け合わせることで、来訪傾向や周遊パターンを可視化。得られたデータをもとに、次回以降の施策改善や新たな観光戦略の立案に活用できるマーケティング基盤を提供します。

両社は本取組を通じて、「クルマでのお出かけ」を起点とした新たな観光需要の創出を図るとともに、自治体・DMO との連携を強化しながら、持続可能な観光施策の構築と地域経済のさらなる活性化に貢献してまいります。

■ **株式会社マップルについて**

地図・ガイド情報などを基にしたデジタルデータベースの企画・制作・販売・使用許諾およびそれらを活用したサービスを提供。

<https://mapple.com/>

マップルの地域創生事業

<https://biz.mapple.com/kanko-dx/>

当社は「社会の交通の安全とお客様の豊かな人生の実現」というパーパスのもと、これからもさまざまな事業を通じてお客様の安全・安心と、利便性向上に取り組むとともに、環境・社会課題の解決へ向けた取り組みにも挑戦してまいります。

以上

この件に関するお問い合わせ先

【お客様からのお問い合わせ】

オートバックスお客様相談センターフリーコール：0120-454-771
受付時間：9:00～12:00 13:00～17:30（土・日・祝日を除く）

【報道関係者からのお問い合わせ】

株式会社オートバックスセブン 広報・IR部 浅川、淡路
〒135-8717 東京都江東区豊洲 5-6-52 NBF 豊洲キャナルフロント
TEL. 03-6219-8787 FAX. 03-6219-8762 MAIL. pr@autobacs.com